

# 防コミの歩き方



## 岩屋ふれあいのまちづくり協議会

### ～「安全で安心して暮らせるまちづくり」～

岩屋地区は、灘区の西南端でJR線の南側から国道2号線に至る古い町並みの残る地区です。阪神・淡路大震災では大きな被害を受けた地区であり、それだけに住民の意識も高く日ごろからさまざまな防災活動を実施してきました。こうした防災活動と福祉活動との連携を図り、「安全で安心して暮らせるまちづくり」を目指して、平成10年に岩屋ふれあいのまちづくり協議会防災部会として発足しました。

#### 防災訓練

当防災部会では、毎年応急手当講習会や防災訓練を実施していますが、これ以外にも市民防災リーダーの養成やファイア・アドベンチャーでの子どもたちへの防災教育、1月17日に実施される「市民防災の日」防災行事などに参加しています。

特に防災訓練は、いざというときにお互い協力しあって防災活動ができるよう、灘南部防災福祉コミュニティと合同で実施しています。今年度も11月17日に消防団や消防署の方に支援いただきながら、岩屋公園で消火訓練、煙体験訓練、炊き出し訓練などを実施し、たくさんの人が参加しました。



#### おたすけガイド

昨年度には地域おたすけガイドの作成に取り組み、何度も地域の皆さんに集まっていたいただき、完成することができました。今後はこの地域おたすけガイドの内容を見直し、変更点があれば修正し、より実践的なものに変更していきたいと考えています。



#### 災害時要援護者支援活動

昨年度の地域おたすけガイドに引き続き、今年度は災害時要援護者支援活動として要援護者名簿の作成に取り組みました。11月24日には実際に災害時要援護者支援訓練として要援護者宅を確認しました。



今後もさまざまな活動を通して顔の見える関係を築きながら、防災力の向上を目指していきたいと考えています。

(岩屋ふれあいのまちづくり協議会  
防災部会長 鹿瀬 公生)